



北海道支部

札幌市水道局

水飲み場「ソラノイド」誕生

札幌市水道局では、水道水の安全性やおいしさを広くPRすることを目的として平岸配水池の耐震改修工事に合わせて平成29年度に水飲み場「ソラノイド」を設置しました。

このデザインについては、札幌市立大学にデザインコンペの実施を依頼し、応募のあった8作品の中から選考し決定しました。

札幌市水道局の公式キャラクターであるウォッピーの周囲に大人や子供、車いすの方の利用を考慮し高さなどを変えた飲み口10カ所を設置するとともに、ウォッピー自体には冷却装置付きの飲み口1カ所を設置して、夏場でも冷たくおいしい水が飲めるようにしています。

テニスコートの下にある配水池を井戸、水飲み場の屋根に空いた穴を井戸の入口に見立てたこの水飲み場は、「ソラノイド」と名付けられ、平成30年度にリニューアルオープンしたテニスコートの利用者など多くの方々に利用していただいています。



リニューアルオープンしたテニスコート



水飲み場「ソラノイド」



東北支部

横手市上下水道部水道課

戦略的な広報の展開 ～水道出前授業の実施～

横手市上下水道部水道課では平成20年10月に管路更新・耐震化プロジェクトを立上げ、約30回に渡り様々な問題について 会議を行ってきました。その中の1つに「水道の広報活動」について議題が上がり、いろいろな意見を検討した結果、まずは小学生から段階的なステップをたどろうとの結論から小学生向けの出前講座を平成24年から毎年行っています。

今年度も申し込みのあった地元の小学校に出向き、スライドを使って「水道水が出来るまで」をクイズなど交えながら説明しています。

また、ジャーテストを使った凝集実験なども織り込み、実際に体験してもらいながら説明し理解を深めて頂きました。

そのほか、過去には、水道週間期間中に「浄水場見学会」などを開催して水道水が出来る過程を実際に目で見て体験してもらうほか、数種類の市販のミネラルウォーター、当市の水道水、他の事業者の水道水について利き水を行うなどのクイズ形式で水道水が安心・安全であることを再確認して頂きました。





関東支部

安中市上下水道部

平成30年度 「第60回水道週間 久保井戸浄水場一般開放」



安中市上下水道部では、毎年水道週間の期間に合わせ、市民の皆様へ水道事業の理解を深めてもらうために、6月1日曜日に久保井戸浄水場の一般開放を行っております。

今年は6月3日に「～水道水 安全 おいしい 金メダル～」をテーマに施設見学・給水車展示・緊急小型浄水器稼働実演・金魚すくい・スーパーボールすくい・鉢花、ポップコーン、かき氷配布等を行い300人程の来場者がありました。また今回初めて、日本ダクタイル鉄管協会様のご協力により耐震管の展示資料をお借りし、展示・説明を行ったところ、大勢の方々が興味を示して、熱心に説明を聞いて頂きました。

当市においては、今後も水道事業の耐震化等取組を市民の皆様にご理解いただき、「安全・強靱・持続」の水道事業を進めて参ります。



関東支部

和光市上下水道部

水道週間で水道のしくみを学ぶ



耐震管模型体験の様子



上総掘り(かずさぼり) 展示の様子



講演の様子



市長よりお言葉をいただきました

和光市では、全国水道週間の実施に合わせ、6月1日から6月7日に和光市南浄水場で水道のしくみや井戸の歴史を学べる見学会(和光市水道週間)を実施しています。

見学会では、井戸の歴史を振り返る井戸の展示、水道の仕組みについて目で見える体験(配管作業の実演、浄水場の見学、残留塩素の実験等)をはじめ、耐震管模型の展示及び和光市で浄水として使用される井戸水の試飲など、見て触れて体験できる見学会を実施しております。なかでも、和光市には上総掘り(かずさぼり)という100年以上前に使われていた、人力による井戸を掘る機械が保管されており、イベントの目玉として展示しております。

水道週間の期間を通し、平成30年度は、市内小学4年生の児童と一般来場者を併せ700名余りの方に参加をいただきました。次年度以降についても、開催を予定しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。



中部支部

紀北町水道課

＜世界遺産熊野古道のまち＞ 水道事業への取り組み



紀北町水道課では、紀北町総合健診会場において、水道事業PRを行いました。

近年、各地域において、大地震、津波、局地的豪雨による水道管の損傷により広範囲で断水が生じていることがテレビや新聞などで掲載されております。

紀北町においても、今後東南海地震などが予想され水道管の損傷が心配されるため、町民に紀北町の水道管は耐震管に布設替を行っていることや、耐震管の仕組み、耐久性などを模型やパネル等を使って説明を行うことにより、紀北町水道事業の取り組みや、その重要性について多くの町民に理解を求めてまいりました。

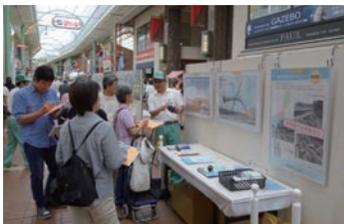
今後も紀北町水道事業への理解を深めるために、このようなPR事業を行っていききたいと思います。



関西支部

神戸市水道局

キテ！ミテ！ジッカン！未来につなぐ神戸の水道



神戸市水道局では、「キテ！ミテ！ジッカン！未来につなぐ神戸の水道」をスローガンに水道週間の期間中、市内の商店街で街頭PRを行いました。

今回は、水道施設の耐震化をPRするために、(一社)日本ダクタイル鉄管協会の協力のもと、耐震管のカットモデルの展示やパネル展示、吊り下げ動画の放映などを行いました。

実物を見て・触れていただくことで、水道に関心のないお客さまにも、災害に強い水道をジッカンしていただき、好評でした。

神戸市水道局では、これからも安全・安心・安定の施策を、裾野広い層のお客さまに知っていただく広報活動を継続していきます。



関西支部

高知市上下水道局

高知県総合防災訓練での水道PR

高知市上下水道局では、5月27日に行われた「高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル」に参加しました。

地域防災フェスティバルの会場内では、防災関係の啓発ブースがあり、高知市上下水道局では、ライフラインである水道に関するブースを出展、パネル等の展示や、給水袋(6ℓ)の背負い体験を行いました。

展示ブースでは、(一社)日本ダクタイル鉄管協会のご協力により、「GX形伸縮模型」や「地震に強いダクタイル管パネル」などを展示し、普段は目にすることの無い、地震災害に強い水道管等について、多くの市民の方に理解を深めていただきました。



中国四国支部

三原市水道部

水道週間イベント

三原市水道部では、平成30年6月2日(土)に水道週間イベントを実施しました。

「水道週間」は、水道の現状や課題について国民の理解を深め、今後の水道事業の取り組みに協力を得ることを目的としており、今年は「水道水 安全おいしい 金メダル」のスローガンのもと、さまざまな行事が全国的に実施されています。

本市では、浄水場見学をはじめ、給水体験、漏水探知機体験など、普段は接することのない体験などをしていました。

また、毎年好評の使用済の緩速ろ過砂の配布にもたくさんの方にお越しいただきました。

今後も、普段当たり前のよう存在する「水道」に関心をもっていただけるイベントを企画し、実施していきたいと思っています。





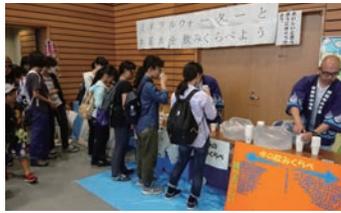
中国四国支部

岩国市水道局

岩国環境フェスタ 2018



岩国市水道局では、水道事業の現状や課題、今後の取り組みについて、広く市民の皆様理解していただくことを目的として、毎年水道週間（6月1日～6月7日）の時期に合わせ、岩国環境フェスタに出展しております。「水道水と清流錦川」というテーマに基づき、利き水体験（水道水と市販のペットボトル水の飲み比べ）や耐震体験管の展示を実施し、来場された市民の方々からも好評をいただくことができました。



今回も、（一社）日本ダクタイル鉄管協会のご協力により、耐震体験管や耐震管解説パネルを展示し、災害に強いライフラインの重要性や耐震管路への更新事業について来場者へ紹介しました。



九州支部

那覇市上下水道局

第60回水道週間イベント



水の飲み比べの様子



水道ポスターコンクール受賞者

毎年6月1日から7日までの1週間は水道週間となり、今年は「水道水 安全 おいしい 金メダル」をスローガンに全国一斉に水道広報活動等の取組みが行われました。那覇市上下水道局でも、多くの市民に水道事業に対する理解と関心を深め、「水」への親しみを喚起し、今後の那覇市水道事業の発展に資することを目的に、水道週間のイベントを実施しました。イベント会場では、風船や水道関連グッズ等の無料配布、ミスト機器を設置し清涼感を演出して集客を図り、水道相談コーナーや水の飲み比べ、水道に関するアンケートコーナーを設置し、水道の疑問に対するアドバイスを行いました。また、市内の小学3年生から6年生を対象に水道ポスターを募集し、656点の中から上位入賞者の作品21点をイベント会場に展示しました。上位入賞者の表彰式では、那覇市長から贈られた表彰状と副賞に家族で喜ぶ姿も見られ、イベントは大盛況でした。

私の好きな
時間

一生熱く！ 一生アスリート！

福岡市水道局
配水部 整備推進課 課長
清水 俊郎

朝7時、エアークーンの音とともに海岸にいた選手が一斉に沖に向かって泳いでいく。熱く、苦しく、楽しい1日の始まりだ。



スイムスタートの様子

第1種目はスイム3.8km。第2種目はバイク（自転車）180km。最終種目のランニング42.195kmは、レースのフィニッシュ（トライアスロンでは「ゴール」と言わず「フィニッシュ」と言います）に向け最もきつく苦しい時である。灼熱の太陽が疲れた身体にはこたえる。横を走る選手や折り返してくる選手も皆苦しそうな表情だ。でも、この苦しい時があるか



多くの仲間が待つフィニッシュロード

らこそトライアスロンなのです。

私がトライアスロンを始めたのは20歳代も後半になった頃です。学生の頃は部活にも入らず帰宅部だった私が、職場の駅伝大会をきっかけに走る楽しさを知り、その後、自宅近くにプールを備えたスポーツ施設ができたことで本格的にトライアスロンにのめり込んでいきました。

トライアスロンは、一人の選手がスイム、バイク、ランと3種目の競技を連続して行い、鉄人レースともいわれるスポーツです。また、レースは夏場に行われることが多く30℃を超える炎天下の中で走ることもあります。まさに鉄人レース。強靱な肉体と不屈の精神力を持った者だけがスタートラインに立ちフィニッシュにたどり着く……と思われるのですが、実は全く違います。トライアスロンは誰もが楽しめる生涯スポーツなのです。私の仲間にも定年退職後にトライアスロンを始め70歳を超えた今でも競技を楽しんでいる方もいます。私も本気で80歳を超えてトライアスロンのレースで完走したいと考えています。

トライアスロンの一番の魅力は、「たくさんの人に支えられ、どんな時も一人ではない」ということです。トライアスロンのレース中は、他人の力を借りてはいけないルールになっています。そのため、バイクも他の選手の後ろを追走し風の抵抗を軽減してはいけないなどの厳しいルールもあります。

しかし、トライアスロンは多くの人の力と心で支えられているスポーツです。レースは長時間・広範囲で行なわれることから多くのスタッフやボランティアが支えています。また、たくさんの方の声援にも支えられています。レースが開催される地域の方々、チームの仲間、同じ苦しみを味わった選手たち。そして、たくさんの迷惑をかけながらも快く送り出してくれる家族や職場の仲間などにも支えられています。

多くの人に支えられ、完走を目指すレースでは、フィニッシュ手前のフィニッシュロードでコースの両側にたくさんの方が並び、仲間がフィニッシュすることを信じて待っています。そして、見ず知らずの人ともハイタッチをかわし、それぞれがいろんな戦いを経てフィニッシュしています。

私たちアスリートは、たくさんの方から勇気と力をもらい、仲間が待つフィニッシュを目指すのです。だから、ほとんどの選手が制限時間が過ぎて、足が痛くても、心が折れそうになっても最後まで頑張れるのです。トライアスロンのフィニッシュには敗者はいません。全ての選手が勝利者となってフィニッシュできるのです。

私はトライアスロンと出会って多

くの大切な仲間を得ました。そして、多くのことを学びました。

「一歩踏み出す勇氣」「あきらめないこと」「信じること」

どんなにきつくても、どんなに辛いチャレンジでも一歩を踏み出せばなんとかなるのです。そして、小さな一歩でも歩みを止めなければ、一歩一歩進めば必ずフィニッシュが訪れるのです。

これまでに数多くのレースに出場しました。トライアスロンをはじめ、トレイルランニング、ウルトラマラソン、超ウルトラマラソン、それぞれのレース中はきつく辛いことも多かったです。しかし、年齢を重ねレースを振り返ったとき、その痛みや苦しみは、ほんのまばたき程度の一瞬の出来事でしかありません。「なんだ、たいしたことなかったなあ。」

トライアスロンの魅力にとりつかれた私は、痛みや苦しみは忘れ、感動と充実、そして感謝の気持ちがいつまでも心に大きく残っています。

こんなに楽しいことは死ぬまでやめられない。



仲間と一緒にのフィニッシュは最高！！

協会ニュース

新支部長就任のご挨拶【北海道支部】



北海道支部長就任のご挨拶

北海道支部長 高橋 彰

この4月に北海道支部長に着任した 高橋 彰 です。よろしくお願いいたします。

9月6日に発生した北海道胆振東部地震により40名を超える尊い命が失われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、昼夜を問わず応急業務に取組まれた皆様、今なお復旧業務に取り組まれている皆様に、心からの感謝とお労いを申し上げます。

この7月に釧路市で開催された日水協北海道支部総会に久しぶりに参加し、水がとりもつ縁で結ばれた多くの水道人に接することで、水道界を支える人々の裾野の広さを改めて感じました。

私も長年所属していた水道事業体の任務は、まずは自らの事業を円滑に持続的に運営することであり、重視する対象はそれぞれの地域の消費者であり納税者です。事業体の枠を超えた発想により行動することには、少なからず躊躇があるものです。幸いこの度、北海道というフィールドでの職務が与えられましたので、水がとりもつ人の縁を大切に、新たな視点から新鮮な心構えで職務に取り組んでいく決意です。

人口減少の時代、社会インフラの分野で維持更新の時代と言われて久しいのですが、各地の事業体において事業費の確保や水道技術の継承がままならない状況では、維持更新といっても、言うに易く行いに難いことです。集う人々の減少とともに心に抱く情熱が失われていくような、負のスパイラルに陥ることに危機感を覚えますし、それは市民にとって不幸なことです。

昨年花巻市を旅した時に購入した新渡戸稲造の日めくり曆に、「われ太平洋の橋とならん」という言葉がありました。水管橋にしても道路橋にしても、構造物としての橋はそうそう架けられない時代であっても、水道に生きる人々の心をつなぐ橋は永遠に架け続けなければなりません。

時代が惹起する諸課題に各組織体がスタンドアロンで対応することが許される時代ではなく、産官学の境界領域に位置する本協会のような団体に期待される役割は小さくないと考えます。微かな力ではありますが、私もその役割の一部を担うことができれば幸いです。

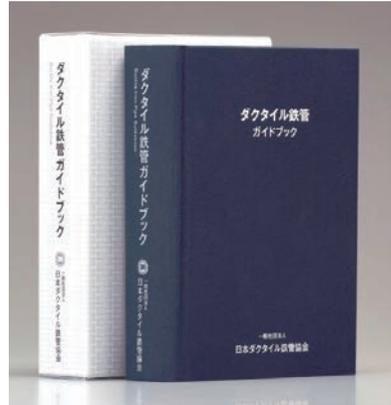
「ダクタイト鉄管ガイドブック」がホームページで閲覧・ダウンロード可能に!!

～初心者にもエキスパートにも役立つガイドブックがより使い易く～

当協会の創立70周年を記念して、ダクタイト鉄管の歴史、特性、継手、防食、設計、施工、維持管理までを掲載した総合技術資料「ダクタイト鉄管ガイドブック」が、ホームページで閲覧・ダウンロードできるようになりました。ダクタイト鉄管ガイドブックのダウンロード方法には

- ①表紙を含む全ページ一括ダウンロード
 - ②Chapter (各章) ごとにダウンロード
 - ③各項ごとにダウンロード
- の3種類があります。

日常業務においてご活用いただければ幸いです。



各タイトルをクリックするとダウンロードができます

ダクタイト鉄管ガイドブック (一括)

目次

表紙	<input checked="" type="checkbox"/>
Gravure グラビア	<input checked="" type="checkbox"/>
Chapter 1 ダクタイト鉄管の歴史	<input checked="" type="checkbox"/>
1-1 鉄の歴史	<input checked="" type="checkbox"/>
1-2 鋳物の歴史	<input checked="" type="checkbox"/>
1-3 水道管の歴史	<input checked="" type="checkbox"/>
1-4 製造方法の歴史	<input checked="" type="checkbox"/>
1-5 継手の歴史	<input checked="" type="checkbox"/>
1-6 耐震継手の誕生	<input checked="" type="checkbox"/>
1-7 工法の歴史	<input checked="" type="checkbox"/>
1-8 輸出の歴史	<input checked="" type="checkbox"/>
Chapter 2 ダクタイト鉄管の特性	<input checked="" type="checkbox"/>
2-1 ダクタイト鉄管の種類と特性	<input checked="" type="checkbox"/>
2-2 ダクタイト鉄管の管体・管路の特性	<input checked="" type="checkbox"/>
2-3 ゴム輪	<input checked="" type="checkbox"/>
2-4 ホルト・ナット	<input checked="" type="checkbox"/>
Chapter 3 ダクタイト鉄管の継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-1 概要	<input checked="" type="checkbox"/>
3-2 水密機構	<input checked="" type="checkbox"/>
3-3 性能確認試験	<input checked="" type="checkbox"/>
3-4 耐震継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-5 一般継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-6 フランジ継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-7 PIP工法用の継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-8 推進工法用の継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-9 貯水槽用の継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-10 水管接続用の継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-11 下水道用の継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-12 農業用水用の継手	<input checked="" type="checkbox"/>
3-13 その他の継手	<input checked="" type="checkbox"/>
Chapter 4 ダクタイト鉄管の内外面防食	<input checked="" type="checkbox"/>
4-1 外面防食	<input checked="" type="checkbox"/>
4-2 内面防食	<input checked="" type="checkbox"/>
Chapter 5 ダクタイト鉄管の設計	<input checked="" type="checkbox"/>
5-1 水理設計	<input checked="" type="checkbox"/>
5-2 管厚計算	<input checked="" type="checkbox"/>
5-3 耐震設計	<input checked="" type="checkbox"/>
5-4 異形管防護	<input checked="" type="checkbox"/>
5-5 付属設備	<input checked="" type="checkbox"/>
5-6 軟弱地盤対策	<input checked="" type="checkbox"/>
5-7 配管設計	<input checked="" type="checkbox"/>
5-8 貯水構	<input checked="" type="checkbox"/>
5-9 水管構	<input checked="" type="checkbox"/>
Chapter 6 ダクタイト鉄管の施工	<input checked="" type="checkbox"/>
6-1 閉削工法	<input checked="" type="checkbox"/>
6-2 PIP(バイブインバイブ)工法	<input checked="" type="checkbox"/>
6-3 トンネル内配管工法	<input checked="" type="checkbox"/>
6-4 推進工法	<input checked="" type="checkbox"/>
6-5 共同溝内配管	<input checked="" type="checkbox"/>
6-6 その他特殊工法	<input checked="" type="checkbox"/>
Chapter 7 ダクタイト鉄管管路の維持管理	<input checked="" type="checkbox"/>
7-1 維持管理の概要	<input checked="" type="checkbox"/>
7-2 維持管理業務	<input checked="" type="checkbox"/>
7-3 水道管路の機能評価	<input checked="" type="checkbox"/>
7-4 下水道圧送管路の内面腐食診断	<input checked="" type="checkbox"/>
Appendix 付録	<input checked="" type="checkbox"/>
付録1 「JSPA G-1045 P14形ダクタイト鉄管」の規格改正 (2017年10月)	<input checked="" type="checkbox"/>
付録2 ダクタイト鉄管管路を高水圧で使用した事例	<input checked="" type="checkbox"/>
付録3 ダクタイト管の膨張および表示などの規格標準値	<input checked="" type="checkbox"/>
付録4 モルタルライニング管の流速係数に関する経年変化実測例	<input checked="" type="checkbox"/>
付録5 ダクタイト鉄管の設置による土圧増大	<input checked="" type="checkbox"/>
付録6 円環の構造計算式	<input checked="" type="checkbox"/>
付録7 鉄管の管厚計算式	<input checked="" type="checkbox"/>
付録8 ダクタイト鉄管およびバルブのメーカーマーク	<input checked="" type="checkbox"/>
付録9 近代水産物貯蔵施設の鉄管のメーカーマーク例	<input checked="" type="checkbox"/>
付録10 聯合形式の各種の由来	<input checked="" type="checkbox"/>

【ホームページのダウンロード画面】



一体化長さ計算ソフトのご紹介

鎖構造管路では異形管前後の管を離脱防止継手で一体化し、管と土との摩擦力や管背面の地盤反力、あるいは離脱防止継手の曲げ剛性で不平均力を保持する方法が採用されています。

この度、お客様の利便性向上を目的として、様々な配管パターンで一体化長さを計算できるソフトを作成し、当協会 HP からダウンロードしてご使用いただけるようになりましたので、お知らせ致します。

計算ソフトの画面表示例

各種パターンによる一体化長さの考え方【GX形】：呼び径φ75～300 Ver 1.0

※曲管の角度を変更しても呼び径は変更できませんのでご注意ください。
 ※各種曲管部の合式角度は、曲管角度を選択した場合は合式角度になりますが、画面以上使用する場合、合式角度も直接入力して下さい。

特殊配管パターン（注）の配管の考え方

①曲管が異方向に連続する場合
 ②曲管が連続する場合
 ③曲管と直管の近接に曲管がある場合
 ④直管の枝管側バルブが連続している場合
 ⑤バルブが一体化長さの範囲内に複数ある場合
 ⑥既設管と連続する場合

条件入力
 呼び径の呼び径を選択して下さい
 土の単位体積重量 [kN/m³]
 18
 開く 実行

条件入力
 呼び径の呼び径を選択して下さい
 土の単位体積重量 [kN/m³]
 18
 開く 実行



配管パターンを7種類に整理しています。

- ・ 検討開始ボタンを押し、配管パターンを選択
- ・ 必要条件を入力すると、計算結果が該当する配管パターン図付近に表示

配管パターン毎の入力条件

The image displays seven dialog boxes, each representing a different pipe pattern configuration. Each dialog box contains various input fields for design parameters and calculation options.

条件①	条件②	条件③	条件④	条件⑤	条件⑥	条件⑦
呼び径: 75	呼び径: 75	呼び径(本管側): 75	呼び径(支管側): 75	呼び径: 75	呼び径: 75	呼び径: 75
設計水圧 [MPa]: 0.75	設計水圧 [MPa]: 0.75	設計水圧 [MPa]: 0.75	設計水圧 [MPa]: 0.75	設計水圧 [MPa]: 0.75	設計水圧 [MPa]: 0.75	設計水圧 [MPa]: 0.75
土盛り [m]: 0.6	曲管の角度 [°]: 5.625	土盛り [m]: 0.6	土盛り [m]: 0.6	土盛り [m]: 0.6	曲管Bの角度 [°]: 5.625	設計水圧 [MPa]: 0.75
ホエチンスリーブの有無: あり	両受曲管の角度 [°]: 22.5	ホエチンスリーブの有無: あり	管種: S種	ホエチンスリーブの有無: あり	曲管Cの角度 [°]: 5.625	曲管Dの角度 [°]: 5.625
閉じる / 実行	合成角度 [°]: 28.125	閉じる / 実行	ホエチンスリーブの有無: あり	閉じる / 実行	閉じる / 実行	閉じる / 実行
			曲管Aの角度 [°]: 5.625			曲管Eの角度 [°]: 5.625
			既設管の積合形式: 耐震継手			

自然災害に強い！ ハザードレジリエント ダクトイル鉄管 (HRDIP)

「ハザードレジリエント ダクトイル鉄管 (HRDIP)」とは？



現在、多くの皆様にご利用いただいている「耐震継手ダクトイル鉄管」。この鉄管は、地震に強いだけでなく、津波や液状化などの二次災害、近年増加している台風・豪雨などの災害でも、強靱な管体と優れた継手性能により、その有効性を発揮しています。「耐震継手ダクトイル鉄管」が地震以外の自然災害にも対応できることを知っていただきたく、日本ダクトイル鉄管協会において、この度『ハザードレジリエント ダクトイル鉄管 (HRDIP)』と呼ぶことにしました。



HRDIP とは？

次の英語表記の頭文字をとっています。

- H**azard 自然災害に対して
- R**esilient 復元力の高い、またはしなやかな強靱性を持った
- D**uctile
- I**ron
- P**ipe ダクトイル鉄管



地震災害で被害のなかった「耐震継手ダクトイル鉄管」は、強靱な管体及び耐震性の高い継手性能により「台風・豪雨・津波」など様々な自然災害でも被害を免れた事例が多数あり大規模・多様化する自然災害への有効性からその評価を高めています。

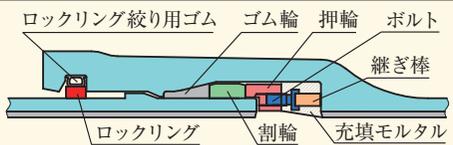
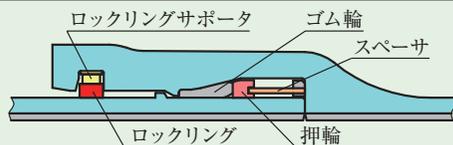
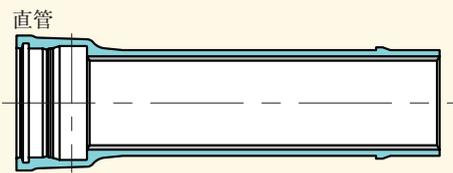
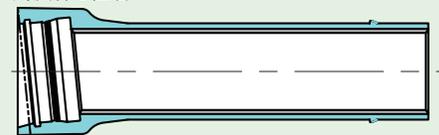
規格ニュース

JDKA G 3002-2〔US形ダクタイトル鋳鉄管 (R方式)〕

US形ダクタイトル鋳鉄管は、JIS G 5526・5527、JWWA G 113・114 として規格化され、内面継手の耐地盤変動用のダクタイトル鋳鉄管として使用されている。

今回、ゴム輪を押輪で受口内面の所定の位置に挿入した後、ゴム輪と押輪の位置を保持するためにスペーサを挿入する革新的な方式 (Revolutionary method) の呼び径 2400 及び 2600 US形ダクタイトル鋳鉄管 (R方式) を開発・実用化したことから、平成 30 年 4 月 5 日付けで制定した。

JIS、JWWA 規格のUS形管とUS形管 (R方式) の比較を以下に示す。

項目	US形管	US形管 (R方式)
呼び径の範囲	800 ~ 2600	2400・2600
呼び径の種類	1種類	呼び径区分Aと呼び径区分Bの2種類 区分A: JIS、JWWA規格と同じ外径(D2)寸法の管 ただし、受渡当事者間の協定(注文者と製造業者の合意)によって、シールド内径に合わせて、最適な直径方向の寸法に変更できる。 区分B: 呼び径と同じ外径(D2)寸法の管
直管の管厚	1種管、2種管、3種管、4種管	1種管、2種管、3種管、4種管 ただし、角度付き直管は4種管のみ
継手構造 (直管、異形管とも同じ)	 <p>注記 呼び径 1100 ~ 2600 のLS方式の継手構造を示す。</p>	 <p>注記 継手性能は、JIS、JWWA 規格と同じ。</p>
主な相違	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム輪と押輪の位置の保持: ボルトと継ぎ棒 ・継手部の充填モルタル: あり ・ロックリングの締め付け方法: LS方式 (ロックリング絞り用ゴム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム輪と押輪の位置の保持: スペーサ ・継手部の充填モルタル: なし ※ボルトと継ぎ棒をなくし、挿し口が押輪の内面を通過して受口奥まで挿入できることから割輪もなくなった。これらの変更に伴って受口の長さが短くなり、継手部の充填モルタルもなくなった。 ・ロックリングの締め付け方法: LS方式 (ロックリングサポーター)
直管の種類		<p>直管</p>  <p>角度付き直管</p>  <p>注記 曲線管路部分で直管の継手の曲げ角度で対応できない配管に使用する。 角度は、呼び径 2400 は 1° ~ 5° の 1° 刻み、呼び径 2600 は 1° ~ 3° の 1° 刻みである。</p>
異形管の種類	継ぎ輪	<p>曲管 (11 1/4°、8°、5 5/8°、3°)、 継ぎ輪、長尺継ぎ輪、 変換継ぎ輪 (呼び径A-L S方式)、 変換継ぎ輪 (呼び径B-L S方式)、 変換継ぎ輪 (呼び径A-呼び径B)</p>

HINODE



タッチして、効率管理。

上水道管理サポートシステム
UBIQUITOUS TOUCH®
ユビキタス・タッチ®

上水道管理サポートシステム「ユビキタス・タッチ®」は、ICタグが内蔵された鉄蓋とスマートフォンなどのスマートデバイスを使用し、バルブ操作情報などの日常の維持管理情報をパソコンで効率よく管理するシステムです。

日之出水道機器株式会社

本社 / 福岡市博多区堅粕5-8-18(ヒノデビルディング) Tel(092)476-0777
東京本社 / 東京都港区赤坂3-10-6(ヒノデビル) Tel(03)3585-0418
<http://www.hinodesuido.co.jp>

日本の上下水道を支える —— TOHYAMAの鑄鉄管



■ 営業品目

上・下水道用
工業用・水道用
ポンプ用 } ダクタイル鑄鉄管
(口径75mm~3,000mm)



〔〇〕日本ダクタイル異形管工業会会員

株式会社 遠山鐵工所

本社 埼玉県久喜市菟浦町昭和18番地
☎0480(85)2111 FAX0480(85)7100

フランジ形長管・乱長管
フランジ形異形管

日本水道協会第1種検査工場・日本下水道協会資器材製造認定工場

九州鑄鉄管株式会社

■本社
〒822-0033 福岡県直方市大字上新入1660-9
TEL 0949-24-1313 FAX 0949-24-1315
URL <http://www.kyucyu.co.jp>
E-mail info@kyucyu.co.jp

■東京支店
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-12
TEL 03-3525-4551 FAX 03-3525-4552

**ホームページで便覧がダウンロード
できるようになりました。**

便覧
第13版

一社団法人
日本ダクトイル鉄管協会

そのほか、各種技術資料もダウンロードできます。

(一社) 日本ダクトイル鉄管協会

編集後記

●大阪北部地震、平成30年7月豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震、自然災害で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。電気、水道、ガスがある快適な暮らしは、ライフラインに関わる多くの人々が支えてくれていることを改めて実感します。水道に限って言えば、断水地域の解消に向けて、各水道事業体の連携、応援活動は続いています。今回の鼎談では、レジリエンスをキーワードにして昨年の7月に九州北部を襲った記録的大雨や熊本地震をテーマに語り合っていました。鼎談実施の3週間前に発生した平成30年7月豪雨の話題にもふれていただきまし

た。鼎談に出席いただいた福岡市水道局と丸山准教授からは平成30年7月豪雨での被災地の写真も提供いただきました。福岡市の清森管理者から平成21年7月に発生した中国・九州北部豪雨の際には5つの浄水場の内、1つの浄水場が機能不全に陥ったにもかかわらず、断水にいたらず、また平成28年1月の記録的寒波においても断水を回避された発言や、宮島教授からの災害は水道システムの強靱性の重要度をPRする機会、丸山准教授からは気象庁のホームページのデータから雨の降り方の変化などについてご説明いただきました。ぜひご一読ください。

ダクタイトイル鉄管第103号〈非売品〉

平成30年10月10日印刷
平成30年10月19日発行

編集兼発行人 長岡敏和

発行所 一般社団法人
日本ダクタイトイル鉄管協会
(<https://www.jdpa.gr.jp>)

本部・関東支部	〒102-0074	東京都千代田区九段南4丁目8番9号(日本水道会館)	電話03(3264)6655(代)	FAX03(3264)5075
関西支部	〒542-0081	大阪市中央区南船場4丁目12番12号(ニッセイ心斎橋ウエスト)	電話06(6245)0401	FAX06(6245)0300
北海道支部	〒060-0002	札幌市中央区北2条西2丁目41番地(札幌2・2ビル)	電話011(251)8710	FAX011(522)5310
東北支部	〒980-0014	仙台市青葉区本町2丁目5番1号(オーク仙台ビル)	電話022(261)0462	FAX022(399)6590
中部支部	〒450-0002	名古屋市中区村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)	電話052(561)3075	FAX052(433)8338
中国四国支部	〒730-0032	広島市中区立町2番23号(野村不動産広島ビル8階)	電話082(545)3596	FAX082(545)3586
九州支部	〒810-0001	福岡市中央区天神2丁目14番2号(福岡証券ビル)	電話092(771)8928	FAX092(406)2256

なんだ管だと
管カエルなら
NCKダクタイトイル鉄管



管路の更新や新設には、耐震性・
耐久性・耐蝕性に優れ、安全・確実な
施工性で定評のNCKダクタイトイル鉄管。

直管・異形管、鉄蓋など、
ダクタイトイル製管路システム一式を揃え、
製造から責任施工まで、NCKの一貫した
先進技術でお応えします。



NCK 日本鑄鉄管株式會社

本社・工場：〒346-0193 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼1番地 ☎(0480)85-1101(代) 東北支社：〒980-0014 仙台市青葉区本町3-5-22 ☎(022)263-2731(代)
東京事務所：〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10 ☎(03)3546-7671(代) 中部支社：〒451-0046 名古屋市西区牛島町5番2号 ☎(052)582-9808(代)
北海道支社：〒003-0821 札幌市白石区菊水元町1条2丁目3番8号 ☎(011)871-4445(代) 九州支社：〒812-0037 福岡市博多区御供所町1-1 ☎(092)282-0201(代)

For Earth, For Life
Kubota

百年の実績を、 百年先の安心へ。

明治26年、国産初となる鑄鉄管の開発から始まった水道インフラへの取り組み。
クボタは、百年を超えて積み重ねてきた信頼と実績を百年先の安心へとつなげて行きます。



クボタ耐震型タクトイル鉄管

GENEX
NECS

株式会社クボタ パイプシステム事業部
www.kubota.co.jp

商品紹介 GENEX



本社 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 (06)-6648-2927 東京本社 〒104-8307 東京都中央区京橋2丁目1番3号 (03)-3245-3161
北海道支社 (011)-214-3140 東北支社 (022)-267-8922 中部支社 (052)-564-5151 中四国支社 (082)-546-0464 九州支社 (092)-473-2431 四国営業所 (087)-836-3924